

歯がまだ痛い！

「歯の神経の処置」と聞くととても痛そうですね。そりゃあそうですね、神経を手で触られるようなものなのです。ですからつらいですね。もちろん麻酔をしたとしても。ただ、神経がなくなっただからもう痛くないか、と言うとそんなことありません。診療室でも「神経を抜いた歯なのに歯が痛い！」という方がおられます。なぜでしょう。

実は、言葉の誤解が少しあります。「歯の神経」ではなく、「歯の中にある神経」の処置をするのであって歯の周囲の神経を抜くことではありません（歯を抜けば別ですが）。したがって、歯の神経は痛まなくても、歯の周りの神経が痛むことがあ



るのです。ややこしいですがお分かりになりますか？

このような、歯の周りの神経が痛むときは、歯の中の神経の痛みとは少し違います。例えば、何もしなければ痛くないけど、物を噛むと響くといった症状が典型です。つまり、噛むことによって歯の根に圧力が加わり、周囲の組織を圧迫することによって生じるのです。もちろん、場合によっては自発的に痛みが出るケースもあります。

このように、痛みが出てしまう神経が残っているというのはやっぱりなことでもあります。しかし、この神経が歯を守ってくれているのですから文句は言えません。そんなことより、痛みが出ないようメンテナンスすることの方が優先ですね。

教養広場

隔月で開催している教養広場です

が、今月はひと・まち社の代表、池田敦子さんをお招きすることになりました。ぜひご参加ください。

日時 9月22日（水）

18：30～

会費 1000円くらい

（飲食代など）

講演会のお知らせ

10月24日（日）、下落合の聖母大学ホールで、聖ヨハネ会桜町病院ホスピス科部長の山崎章郎先生の講演会が開催されます。著書の「病院で死ぬということ」は大変有名ですからご存知の方も多いと思います。

ご興味があれば声をかけてください。チラシをお渡しいたします。なお、9月からはチケットの販売もできます。（チケット代1500円）